

# 令和4年度モデル事業

## ① 事業者の概要

No. 応募提案名	BIM USES DEFINITIONS BIMの効果的な活用を促すためのハンドブック
事業年度、型	令和4年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業、先導事業者型
事業者名	株式会社 日建設計

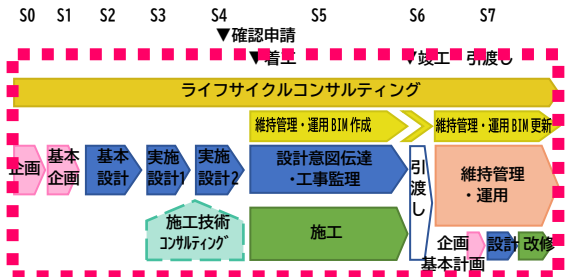
## ② プロジェクト・取組事例の概要

BIMを通じたデジタルデータの活用により、建築分野における生産性向上、建築物・データの価値向上や様々なサービスの創出等に向けてBIMを導入していくためには発注者のBIM活用のメリットを分かりやすくすることが求められる。発注者がBIMの利用法やメリットを判断することを可能にする「BIM USES DEFINITIONS Vol.1 BIMを活用するプロセスやタスク やさしいガイドブック」を作成する。作成に当たっては発注者、受注者側にアンケートを行い、幅広い意見を収集する。

## ■プロジェクトの基本情報

用途、床面積、階数	複数用途
構造種別、階数	複数
区分	複数
提案者の役割	ライフサイクルコンサルティング業者
発注者の位置づけ	複数
BIM活用の位置づけ	21のBIM利用法
主要なソフト	複数

## ■業務ステージ



21のBIM利用法

ワークフローとの関係



1.2 用途の分析

用途とBIM利用法



各団体の資料



BIM利用法の詳細解説



### ③ 「BIMデータの活用・連携に伴う課題分析」の主な結果

分析する課題	キーワード	検討の方向性、実施方法等	課題分析等の結果 (課題の解決策)
発注者向けの資料	解説	発注者側へのヒアリングを元に、建築を専門としない発注者でも理解出来る解説を行う	BIM 利用法の用語に対し、60近くの解説を追加 →5章 BIM USES DEFINITIONS 詳細解説
	実例	オフィスビル、公共施設、工場、病院等、実際の BIM 案件から汎用性のある建物用途をピックアップし、発注者の建物用途やビジネスモデルの参考になるような実例分析を行う	12の用途（オフィス、公共施設、工場、空港、大学、病院、ホテル、研究施設、商業施設、マンション、学校、データセンター）に対し分析をおこなった。 →3章建物用途ごとの実例分析
受注者向けの資料	情報	設計 BIM ワークフローガイドライン（設計建築設計三会）の資料等と連携し、具体的な建築情報をベースに説明を行う	BIM 利用法ごとに政府や業界団体の資料に掲載されている具体例を整理し、掲載した。 →5章 BIM USES DEFINITIONS 詳細解説 4章 BIM 情報について
	取説	これまで EIR, BEP を取り交わした BIM 案件の経験を元に具体的な解説を行う。	EIR, BEP の解説に加え、EIR, BEP の使い方、意味や効果について説明を加えた。 →1章 BIM とは何か

### ④ 「BIMの活用、BIMを通じたデジタルデータの活用等の効果検証」の主な結果

検証の対象	効果	検証の方向性、実施方法・体制	効果		ポイント
			目標数値 (比較基準)	主な実績数値	
やさしいガイドブック	発注者の導入効果	やさしいガイドブックの導入前後で発注者への BIM の説明時間がどう変わるかアンケート形式で受注者が回答する	発注者への BIM の利用法の説明時間 20%削減	14%削減	発注者へ BIM を説明するわかりやすい資料は少なかったため、今後、実際のプロジェクトで活用できる
やさしいガイドブック	受注者の導入効果	やさしいガイドブックの導入前後で発注者が指定する BIM 利用法を受注者が理解しやすくなるかアンケート形式で受注者が回答する	BEP と技術提案書作成時間 20%削減	16%削減	受注者側も BIM を普及させるにあたり、まとまった資料が少なかったため、今後、実際のプロジェクトで活用できる

### ⑤ その他

検証結果報告書 URL	<a href="https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001598506.pdf">https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001598506.pdf</a>
作成した EIR・BEP の特徴	・ BIM 利用法を活用
その他(展開できそうな成果)	・ 発注者が BIM を指定するプロジェクトでの活用